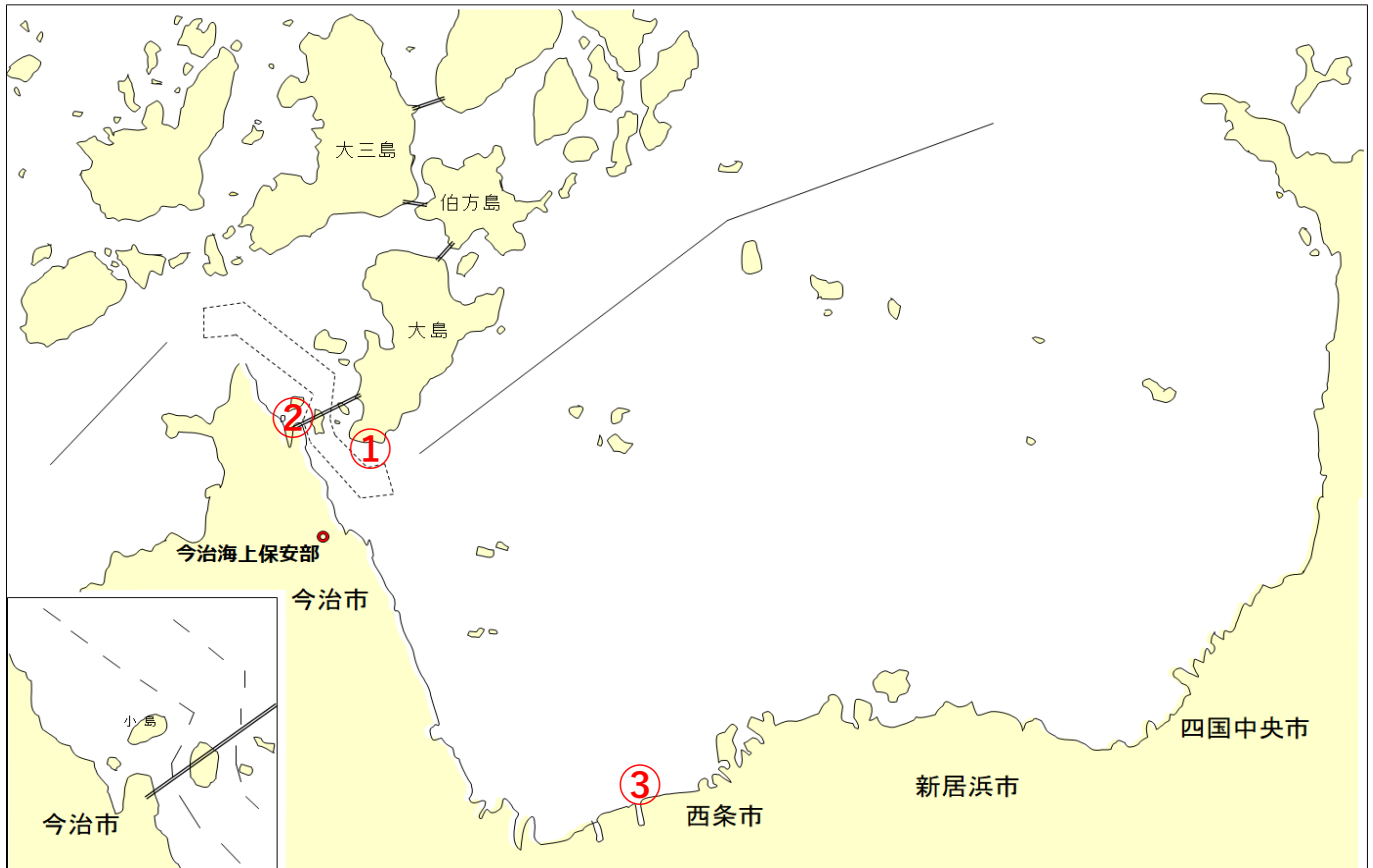


今治海上保安部管内の主な海難発生状況（令和4年9月）

～ 自船の安全確保3ヶ条（次ページ掲載）を実践して
安全を確保しましょう。 ～

令和4年10月1日現在



9月11日 午前11時頃 遊漁船の乗揚げ

【概要】 船長1名、釣り客4名は、今治市大島南方で遊漁中、釣り場所を移動しようとしたところ、船底に衝撃を感じ浅瀬に抵触したものの。

① 釣り客にけが等なし。浸水及び油の流出なし。

釣り客は、僚船に移乗され港に搬送された。遊漁船は、自力航行にて入港した。

【一口コメント】 慣れた海域であっても、航海計器を活用しつつ、見張りを徹底し、周りの状況を確認しましょう。

9月23日 午前8時頃 プレジャーボートの機関故障

【概要】 乗船者2名は、今治市小島南方でエンジンをかけたまま釣りをし、帰港しようとしたところ、エンジンが停止し運航不能となったもの。

② 該船は、僚船にえい航され無事入港した。

乗組員2名にけが等はなく、エンジン停止の原因は、燃料の目詰であった。

【一口コメント】 出航前の点検を行いましょう。

9月25日 午後6時頃 ミニボートの転覆

③【概要】乗船者1名は、西条市渦井川河口付近で釣り中にエンジンが止まったため、オールを使って帰港しようと準備中にバランスを崩し転覆した。転覆後、自ら118番通報し、巡視艇により、事故者及びミニボートは無事に救助された。

【一口コメント】ミニボートのバランスは構造上、バランスを崩さないよう、不安定で揺れやすいので、気を付けましょう。

(暫定)

自船の安全確保3か条

小型船舶の船長は、以下の3つの事項を実践して、自船の安全を確保しましょう！

その1. 発航前、機関や燃料等の点検の実施

その2. 航行時、常時見張りの徹底

その3. 故障時に備え、救助支援者の確保



発航前・・・機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！



航行時・・・常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！



故障時に備え・・・救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！

※ 水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

